※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）話し方講座	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	論理の力を育てるシリーズ　１日１０分言語力ドリル　聞く・話す（第一学習社） さりげなく使う敬意表現（中部日本教育文化会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活に必要なコミュニケーションのための知識や技能を高める科目です。スピーチやインタビュー、コミュニケーションゲーム活動に取り組み、原稿を書く、話す、聞く、力を養います。
・グループや、他クラスの生徒ともコミュニケーションをとる事が必要ですので、積極的に自分の考えを話そうとする姿勢が求められます。
・話すことが苦手な人も得意な人もみんなで一緒に取り組んでいきましょう。

2　学習の到達目標

（1）自分の考えを言葉で適切に表現することができる。他者とお互いの気持ちを言葉で適切に伝え合い、理解することができる。
（2）心情の言語化を通し、言語感覚を磨くことで、思考力を伸ばす。
（3）自分の考えや気持ちを進んで表現することで言語生活が豊かにし、社会生活を充実させる態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	◆ 自分の学びや考えを適切に文章にまとめたり、話したりする方法を身につける。 ◆ 目的や場に応じて、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりする。	◆ 自分の意見を話したり、他者の意見をよく聞き理解したりすることで、自分の考えを深め、さらに発展させている。 ◆ 他者とのコミュニケーションの中で自分の考えをまとめ、効果的な表現による文章に書いたり話したりする。	◆ 自分の気持ちや考えを進んで言葉で表現するとともに、他者と伝え合おうとしている。 ◆ 国語で表現する特色について理解を深め、人間生活・社会生活における言語の役割を捉えている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コミュニケーションの基礎 ［教材］ 相手意識 目的意識 敬意表現	a:姿勢や発声法に気をつけ他者が聞き取りやすい話し方について学び、練習している。 b[書]:自分に関する事柄や考えを客観的に把握し、言葉や文章にまとめようとしている。 c:他者の意見を聞き、それを基に自らの話し方の向上に役立てようとしている。	・小テスト	・ワークシート ・レポート(記述の点検)	・レポート(記述の点検) ・提出物の内容
	コミュニケーションゲーム ［教材］ 情報を聞く(1)(2)	a:・コミュニケーションゲームを通して、言葉を伝えることの難しさに気づき、言葉を伝える方法を学んでいる。 b[話／聞]:自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、分かりやすい表現になるように工夫している。 c:表現について理解を深め、生活の中で自然に使うことができる。積極的に伝えようとする態度を育てる。	・行動の観察	・ワークシート ・取り組みの姿勢	・行動の観察 ・振り返りシート
	スピーチの準備をする ［教材］ 事実を話す(1)(2) 敬意表現	a:スピーチとは何かを知り、基本的な表現活動の手順に則り、スピーチをするための構成・展開を考える。 b[話／聞]:自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、分かりやすい表現になるように工夫している。 c:他者の意見を聞き、それを基に自分の考えや表現方法を研鑽し、自らの話し方の向上に役立てようとしている。	・小テスト	・ワークシート ・レポート(記述の点検)	・レポート(記述の点検) ・提出物の内容
2学期	スピーチをする ［教材］ 事実を話す(3) 意見を話す「スピーチ」(1)～(3)	a:自分に関する事柄や考えを他者に伝えるために、効果的な話し方や聞き方について考えたり、練習したりしている。また他者のスピーチから自分と違う意見や考えを聞き取ろうとしている。 b[話／聞]:他者のスピーチを聞き、自分の考えを深め分かりやすい表現になるように工夫し、よりよい表現活動をすることに役立てている。 c:他者の意見を聞き、それを基に自分の考えや表現方法を研鑽し、自らの話し方の向上に役立てようとしている。	・行動の観察 ・実技	・レポート(記述の点検)	・行動の観察 ・振り返りシート
	他者とコミュニケーションを摺るための技術を学ぶ ［教材］ 話し合う(1)～(3) 敬意表現	a：話し合いをしたり、散文や韻文、原稿などを読んだりすることによって、他者に言葉を伝える練習をする。 b[話／聞]：話し手の意図を考えながら、適宜必要な情報のメモを取る	・小テスト	・ワークシート ・レポート(記述の点検)	・レポート(記述の点検) ・提出物の内容

※令和４年度以降入学生用

		などし、自分の考えをまとめたり、深めたりしている。 c：敬語や慣用的な表現について理解を深め、生活の中で自然に使うことができ、分かりやすい表現になるように工夫している。			
3学期	インタビューの準備 ［教材］ 情報を聞く(3) 考えを聞く(1)～(3) 敬意表現	a:インタビューとは何かを知り、テーマを考える。また話の切り出し方、切り上げ方を考え、生徒同士または教員を相手に模擬練習を行う。 b[書]：内容や場面を意識したインタビューの質問文を書くことができる。全体の構成・展開を考えて、話したり、聞き取ったりして、適宜フィードバックし合う。 c：内容や場面を意識したインタビューの質問文を書き、自分と他者の結果を比較し、インタビューの意義について理解を深める。	・行動の観察 ・小テスト	・ワークシート ・レポート(記述の点検)	・レポート(記述の点検) ・提出物の内容
	インタビュー ［教材］ 情報を聞く(3) 考えを聞く(1)～(3) 話し合う(4)	a：話し手の意図を考えながら、適宜必要な情報のメモを取るなどし、話を適切に聞き取ろうとしている。 b[話／聞]：全体の構成・展開を考えて、話したり、聞き取ったりすることができ、他者の意見を基に自分の考えや表現方法を研鑽している。 c：敬語などの表現について理解を深め、生活の中で自然に使い、自らの話し方の向上に役立てようとしている。	・小テスト ・実技	ワークシート レポート(記述の点検) ・小テスト	レポート(記述の点検) 提出物の内容

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　　）時間